

世界文化遺産保護条例案、 市営住宅政策、京都市の農業政策 京都市会議員団 政策発表



日本共産党京都市会議員団は、3週連続して政策発表の記者会見を行いました。

●「世界文化遺産保護条例(案)」を9月19日に発表しました。骨子に寄せられた市民意見を受け、条例案としてまとめ、11

月市会への提案を目指しています。11月7日には条例案の市民説明会「なぜいま『世界遺産保護条例』を提案するのか」を開催します。たくさんのご参加をお待ちしています。

●「魅力ある市営住宅 安心して住み続けられる地域づくりに向けて一住まいは人権の立場で」9月26日には、市営住宅政策を発表。本来の住宅政策のあり方、公営住宅の役割、京都市の市営住宅の現状と住民本位の住宅政策への転換を提案しました。



●「京都市の都市農業と農地を守り活かす 日本共産党の政策」

10月3日には農業政策を発表。都市農業の多面的機能、まちづくりに都市農業を位置づけ、農地保全・担い手確保・地産地消を進めるための提案を行いました。

いずれも、京都市のまちづくりの転換で、京都市の環境、くらしの基盤、市民生活を守っていくための施策としてまとめたものです。政策発表にあたっては、それぞれ多くの関係者の皆様のご意見をいただきました。改めて感謝申し上げます。くらしと景観・環境を守る京都市政へ皆さんと力を合わせてまいります。

政策の全文は、議員団のホームページをご覧ください⇒ <https://cpgkyoto.jp>